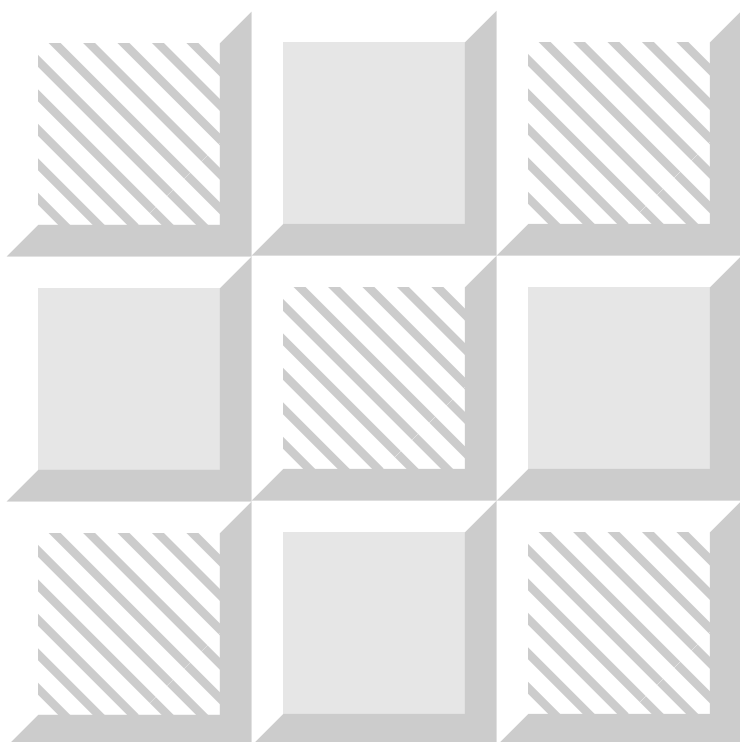
Panasonic®

取り付け工事説明書

壁掛け金具（垂直取り付け型）

品番 TY-WK5P1S

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取り付け工事の前に、この「取り付け工事説明書」と２～３ページの「安全上のご注意」、プラズマテレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい取り付け工事を行ってください。プラズマテレビの取扱説明書とともに大切に保管してください。

TQZJ063

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

工事専門業者以外は取り付け工事及び接続機器の増設や取り外しを行わないでください

禁止

工事の不備により、落下してけがの原因となります。

荷重に耐えられない場所に取り付けないでください

禁止

取り付け部の強度が弱いと、落下してけがの原因となります。

取り付け強度上の安全係数を配慮してください

強度が不足すると、落下してけがの原因となります。

壁掛け金具を分解したり、改造しないでください

分解禁止

落下したり、破損して、けがの原因となります。

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保してください

長期使用により設置場所の強度が不足すると落下してけがの原因となります。

⚠ 注意

カタログで指定した機器以外には、使用しないでください

落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

指定方法以外の取り付けは行わないでください

落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

あお向けや横倒し、逆さまに取り付けて設置しないでください

機器内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱が当たる所に取り付けないでください

機器に悪影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

機器本体より上面は 10 cm 以上、左側面は 10 cm 以上、右側面は 15 cm 以上、下面は 10 cm 以上の空間を確保してください。
壁面と機器後面の空間をふさがないでください。

機器本体には、通風孔があり、これらをふさぐと火災の原因となることがあります。

機器本体の取り付け、取り外しは 2 人以上で行ってください

機器本体が落下してけがの原因となることがあります。

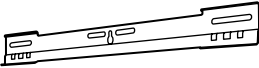
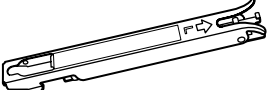
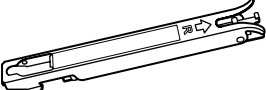
取り付けの際は、専用の構成部品をご使用ください

機器本体が落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください

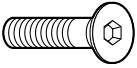
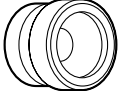
壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

機器本体を取り外す場合には、壁掛け金具も取り外してください

壁掛け金具にあたるなどして、けがの原因となることがあります。

取り扱い上のお願い

1) 直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
2) 壁掛け金具のお手入れは、やわらかい乾いた布（綿・ネル地など）でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。
   （機器本体のお手入れは機器本体の説明書に従ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。）
3) 粘着性のテープやシールをはらないでください。壁掛け金具の表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。（変質の原因となります。）
4) 設置時、衝撃などによるプラズマテレビ本体の「パネル割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

■ 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

構成部品

壁掛け金具組み立て用部品

① ベース上下金具（2 個）	② ベース左金具（1 個）	③ ベース右金具（1 個）	④ 金具組み立て用ねじ M5 × 10（4 本）

取り付け用部品

金具完成品図

Ⓐ 六角穴付き皿ねじ M８× 24（4 本）	Ⓓ 位置決めシール（2 枚）
Ⓑ 皿型歯付き座金（4 個）	Ⓔ 本体固定用ロングボルト（1 本）
	Ⓕ 本体固定用ねじ M6 × 50（1 本）
Ⓒ 絶縁スペーサー（4 個）	Ⓖ 六角レンチ（付属工具）（1 個）

■イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

取り付け工事前のお願い

■ 壁掛け金具に取り付けられるプラズマテレビ本体は、ディスプレイユニット・チューナーユニット・スピーカーで構成されています。

取り付け工事上の留意点

■ 本機はプラズマテレビ本体を垂直の壁に取り付けてご覧いただくための壁掛け金具です。
垂直壁以外の場所に取り付けて使用しないでください。

■ プラズマテレビ本体の性能保証やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。
- スプリンクラーや感知器のそば
- 高圧線や動力源の近く
- 暖房機器の風が当たる所
- 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
- 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
- エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所

■ 取り付け場所の構造や材質にあった工法で取り付け工事を行ってください。

■ 壁面への取り付けねじは、壁面の材質（木材、鉄骨、コンクリート等）に合った市販品の呼び径 6 mm 相当のねじをご使用ください。

■ 機器周囲温度が 40℃を超えることがないように空気の流通を確保してください。
プラズマテレビ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

■ 取り付け工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。

■ ねじ止めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。

■ 本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。

■ 取り付け工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。

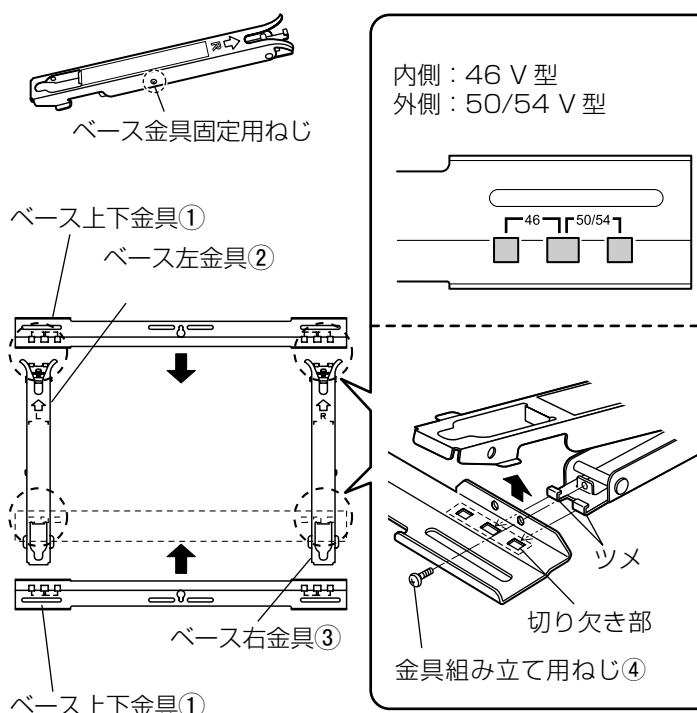
■ シーリングライト（スポットライト・ハロゲンライトなど）の下にプラズマテレビ本体を取り付けないでください。
高熱によりキャビネットが曲がったり、いたんだりするおそれがあります。

取り付け工事手順

1. 壁掛け金具の組み立て

1. ベース左②・右③金具の固定用ねじをゆるめてください。
2. ベース上下金具①とベース左②・右③金具を図のように置いてください。
3. 上になるベース上下金具の切り欠き部に、ベース左・右金具の突起部（ツメ）をはめ込み、金具組み立て用ねじ④（2本）で固定してください。
   （締め付けトルクは 1.2 ～ 1.5 N·m）
4. ベース左・右金具の下側を少し開き、突起部（ツメ）をベース上下金具の切り欠き部にはめ込み、金具組み立て用ねじ④（2本）で固定してください。
   （締め付けトルクは 1.2 ～ 1.5 N·m）
5. 手順 1 でゆるめたベース左②・右③金具のベース金具固定用ねじをもとのように固定してください。

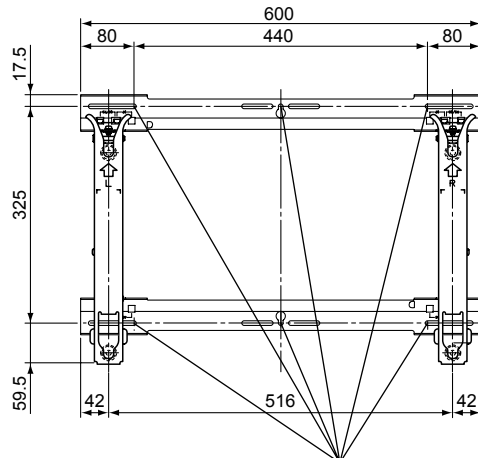
お願い

●組み立てた壁掛け金具の取り扱いはベース左・右金具を持って行ってください。
ベース上下金具を持つと変形するおそれがあります。

2. 取り付け場所の強度確認

1. 壁掛け金具の質量は約 2.3 kg です。
   壁掛け金具に取り付けるプラズマテレビ本体の質量を、プラズマテレビ本体の取扱説明書でご確認ください。
2. 右図壁掛け金具の寸法図を参照のうえ、6 か所の取り付け位置の壁面強度確認を行い、強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。

お願い

●壁掛け金具には上下各 5 か所の取り付け穴が開けてあります。壁面の材質が木材などで、右記 6 か所の固定では取り付け強度が確保できない場合は、予備の穴もご使用ください。ただし、取り付け部の材質によっては近接した位置にねじ止めをすると、ひび割れが発生する場合がありますのでご注意ください。
●プラズマテレビ本体以外は取り付けたり載せたりしないでください。
●プラズマテレビ本体取り付け時の寸法詳細は、外形寸法図（裏表紙）をご参照ください。

単位：mm

※必ずねじで固定してください。

取り付け工事手順（つづき）

3. 壁面への壁掛け金具の取り付け

お願い

- 壁面がコンクリートなどで、事前にボルトまたはナットを埋め込む必要がある場合は、壁掛け金具の現物合わせで穴位置を出すか、寸法図を基に穴位置を割り出し、「呼び径６ mm相当」のボルトまたはナットを埋め込んでください。なお、ボルトを埋め込む場合は、壁面からのボルトの飛び出しは 10 mm ～ 15 mmにしてください。
  ※ 46V 型の場合、ベース上下金具の中央（各３か所）の穴に使用するねじ・ボルトの飛び出しは、壁面から５mm 以内にしてください。
- 壁面への取り付けねじは、取り付け部の材質に合った市販品の呼び径６ mm相当のねじをご使用ください。
- 必ずねじで６か所以上固定してください。

1. 壁掛け金具に表示されている矢印が上を向く状態に取り付けてください。

2. 最初に上部中央の穴 Ⓐ をねじ止めしてください。

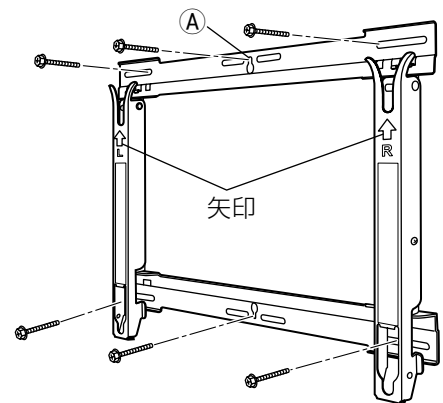
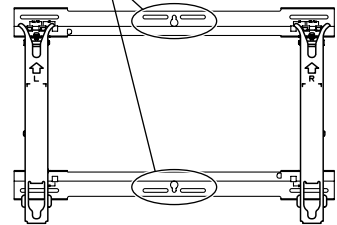
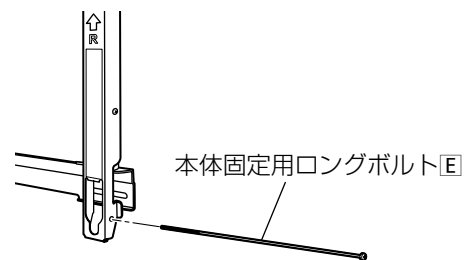
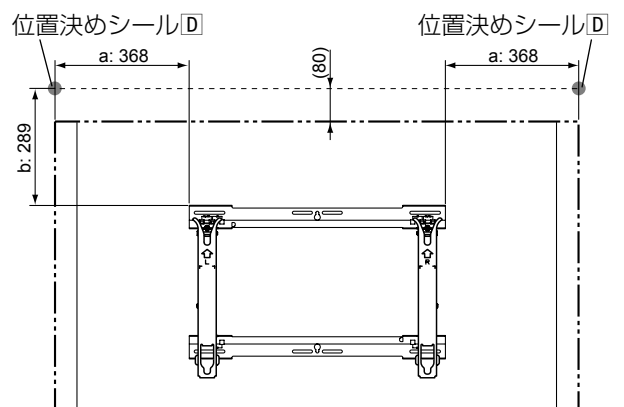
3. 水平器を使い金具の傾きを修正後、残り 5 か所の穴をねじ止めしてください。

4. プラズマテレビ本体を取り付ける目安として、右図と同じように位置決めシールⒹ（２枚）を壁に貼ってください。
貼り付け位置（左右２か所）は外形寸法図（裏表紙）をご参照ください。
・位置決めシールを貼り付けた位置は、プラズマテレビ本体より 80 mm 上になります。

（50V 型の貼り付け例）　単位：mm

5. 本体固定用ロングボルトⒺ（１本）をベース右金具③ 右側面の下にある、ねじ穴に仮止め（２～３回転）してください。

お願い

- 46V 型をディスプレイユニットのみでご使用になるときは、右側面より本体固定用ロングボルトⒺが見えます。設置条件等で気になる場合は本体固定用ねじⒻ（１本）を使って仮止めしてください。
  その場合は長いプラスドライバー（40 cm 以上）をご使用ください。

4. ディスプレイユニットへの絶縁スペーサーの取り付け

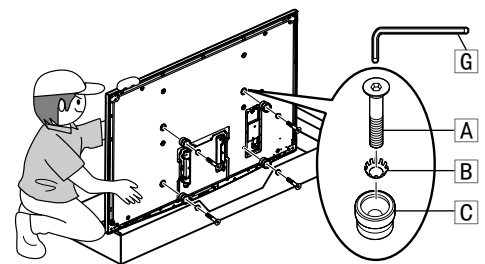
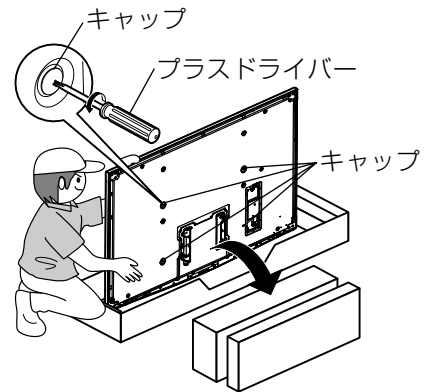
1. プラズマテレビ本体の外装ダンボール上側を取り除き、保護袋を下げてください。
   ディスプレイユニットが倒れないように、前から支えてください。
2. アクセサリーボックスとスピーカーボックスを外装ダンボールから取り出してください。
3. ディスプレイユニットからキャップ（4 個）をプラスドライバーで取り外してください。

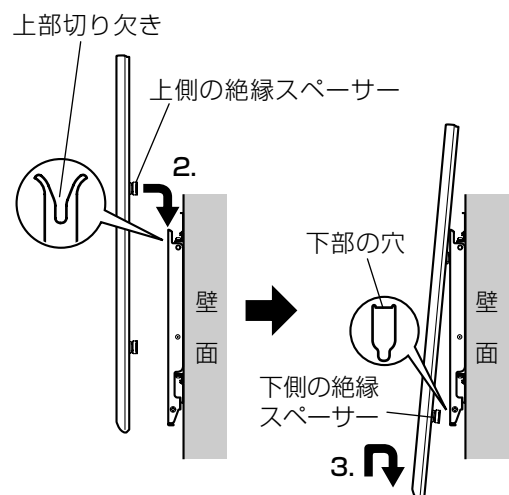
お願い

●取り外したキャップは大切に保管してください。
（据置きスタンドを使用する場合に必要です。）

4. キャップを取り付けていた所へ付属の六角穴付き皿ねじ A、皿型歯付き座金 B、絶縁スペーサー C（各 4 個）を付属の六角レンチ G で右図のように取り付けてください。
   （締め付けトルクは 3 ～ 4 N･m）
   ●絶縁スペーサー Cを取り付けずに組み立てると、ディスプレイユニットが破損するおそれがあります。
5. ディスプレイユニット側に HDMI ケーブル（付属品または別売）を接続してください。
   HDMI ケーブルはチューナーユニット設置場所との距離に合わせた長さのものをご利用ください。

お知らせ

●プラズマテレビ本体側に同梱されているスピーカーなどの取り付けや HDMI ケーブルの接続は、プラズマテレビ本体の取扱説明書をご参照ください。
●フルハイビジョンワイヤレスユニットを設置される場合は、その説明書に従ってください。

5. ディスプレイユニットの壁掛け金具への取り付けと固定

1. 壁に貼り付けた位置決めシールを目安に、ディスプレイユニット上部の左右を合わせる。
2. ディスプレイユニット上側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体上部の切り欠き部に引っかけ、そのままゆっくり下げます。
3. ディスプレイユニットを少し持ち上げながら、下側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体下部の穴に差し込み、ディスプレイユニットをそのまま下げます。

機器本体を必要以上に持ち上げないでください

機器本体を持ち上げすぎると落下してけがの原因となることがあります。

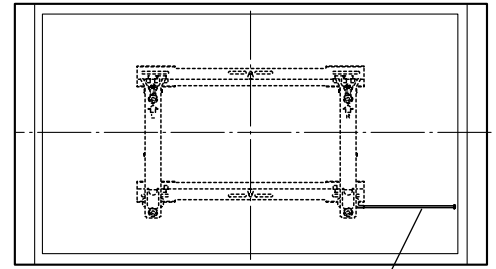
取り付け工事手順（つづき）

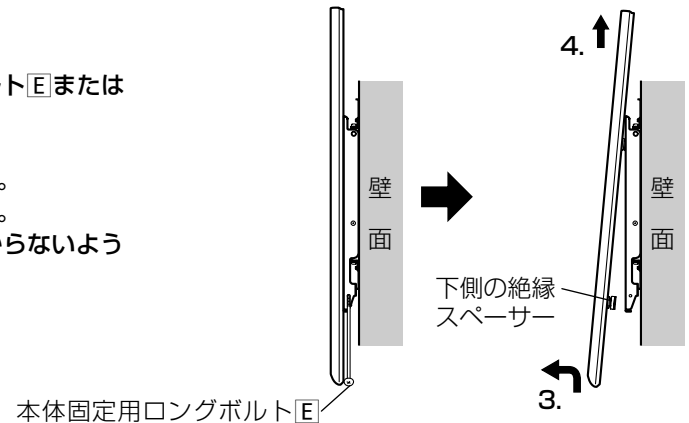
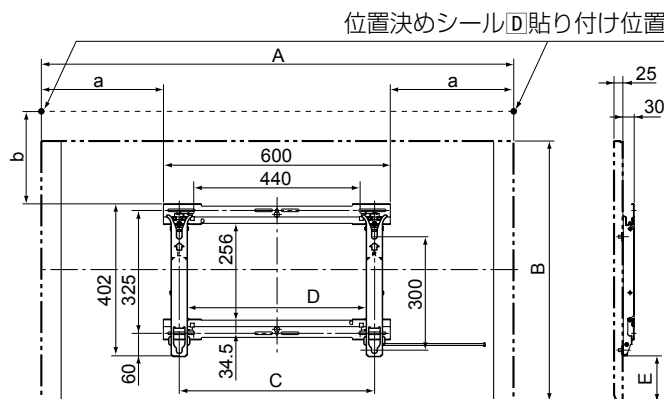
4. 手順３の５. で仮止めした、本体固定用ロングボルトⒺを進まなくなるまで締め付けてください。

お知らせ

●本体固定用ロングボルトⒺまたは本体固定用ねじⒻを締め付けすぎると、金具が変形する場合があります。

5. ディスプレイユニットを少し持ち上げて、確実に固定されていることを確認してください。

6. チューナーユニットに HDMI ケーブルを接続してください。

プラズマテレビ本体の取り外しかた

1. 壁掛け金具側面に取り付けられている本体固定用ロングボルトⒺまたは本体固定用ねじⒻを取り外します。
2. 接続機器との配線を外してください。
3. プラズマテレビ本体の下部を持ち上げながら手前に引きます。
4. 下側の絶縁スペーサーが外れたらそのまま上に持ち上げます。
5. 取り外したプラズマテレビ本体は、前面と後面に負担がかからないように、立てた状態で取り扱ってください。

外形寸法図

（単位：mm）

寸　法		TH-P54Z1	TH-P50Z1	TH-P46Z1
		対象機種		
A		1428	1336	1249
B		820	762	719
C		516	516	472
D		474	474	430
E		152	151	152
位置決めシール貼り付け位置	a	414	368	325
	b	345	289	245

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号

パナソニックお客様ご相談センター
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
■携帯電話・PHS でのご利用は…
06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236
365日／受付9時～20時

M0309K0 (PBS)